

困ったときの知恵袋

YES-123

【相談】



図面に「20.32W36」と記載された、めねじ加工がある部品の見積依頼を受けました。
客先より、これは「光学機器」の部品になると聞きましたが、どのような規格のねじなのでしょう？
特殊なウイトねじ規格になるのでしょうか？
加工するには、どのような工具を利用すれば良いのか分からず困っています。

【回答】

このねじは、JIS B 7141の「顕微鏡-対物ねじ」の中に規定があり、顕微鏡対物レンズやレボルバなどに一番利用されているねじで、「RMS形」と呼ばれるウイトねじの山形になります。また、対物レンズを交換する頻度は、比較的高いため、レボルバのめねじが傷むことも多く、サライ加工や新規部品の製作のため、今回のような相談が少なくありません。そのため、YAMAWAでは「顕微鏡対物レンズ用ハンドタップ」「HT MST 20.32W36」を標準化しています。



商品カタログ
HT MST 20.32W36



【説明】



レボルバ

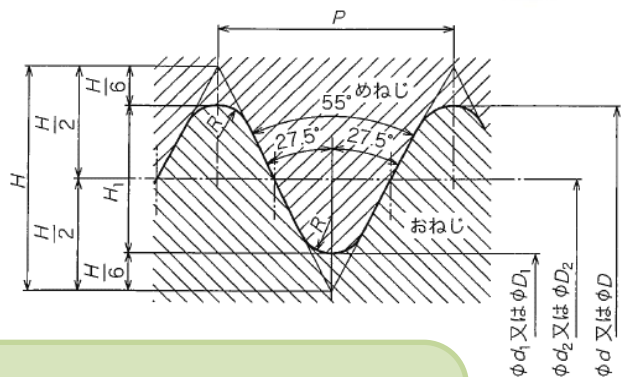
顕微鏡対物ねじは、左の写真にあるような顕微鏡のレボルバーの部分に使用されています。一般的には、「RMS形」と呼ばれる「20.32W36」のねじが多く利用されています。顕微鏡-対物ねじ規格には、その他にウイトねじ山の「W26形」、メートルねじ山の「M25形」「M27形」「M32形」などが有ります。



顕微鏡-対物ねじ「RMS形 20.32W36」のめねじ規格

単位: mm

種類	許容値	谷の径	有効径	内径
20.32W36	最大	20.396	19.944	19.550
	最小	20.320	19.868	19.474



ϕd_1 又は ϕD_1
 ϕd_2 又は ϕD_2
 ϕd 又は ϕD

「RMS形 20.32W36」用のタップは、食付き:5山 食付き:1.5山の2種類が標準化されていますので、YAMAWAのホームページ電子版総合カタログをご参照願います。
「W26形」や「M25形」「M27形」「M32形」のタップは、特殊製作対応になりますが、ご必要の場合は、是非 問い合わせください。

